

■田中先生の考えた保護者会の全体構成

1. 学年の各種連絡、説明……………【15分】

2. データでみる社会変化①……………【5分】

「採用で重視される力」

※「企業が採用で重視する能力として、約 20 年前に上位にあった『専門知識・研究内容』は、最近ではどこに入ると思いますか？」と投げかけ。以下のようなデータを示す。

約 20 年前（1999 年）の調査では大学卒で 5 位、大学院卒で 1 位の「専門知識・研究内容」は、2010 年代（2012 年）の調査でいずれも 5 位圏外へ。代わりに「チームワーク力（コミュニケーション能力、協調性等）」が大学卒で 3 位に、大学院卒で 2 位に。

1 位はどちらも「熱意・意欲」に（1999 年の調査では「熱意・意欲」は共に 2 位）。（平成 25 年版『労働経済の分析』の「企業の採用で重視される能力」のデータを活用）

http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/13/dl/13-1-5_01.pdf

3. データでみる社会変化②……………【5分】

「企業が求める人材像」

※「企業が求める人材像は時代によって異なります」として以下のようなデータを示す。

1970 年代から 2000 年代にかけて、円満な人柄など「問題を起こさないこと」を重視する傾向から、チャレンジや柔軟性、失敗を恐れないなど『社会の変化に進んで取り組む力』を重視する傾向へとシフトしてきた。

（リクルートワークス研究所『大学新卒者に求める『能力』の構造と変容』の「流行型（特定の時代でのみ多くの企業が用いる流行の言葉）29 項目」のデータを活用）

https://www.works-i.com/pdf/060601_WR01_05.pdf

4. ツールの活用……………【15分】

「学校、社会はどう変わる？」

5. まとめ……………【5分】

子どもの思考力や主体性を「学校・地域・家庭でどう伸ばしていくか共に考えたい」と呼びかけ。

■ 河口先生の考えた保護者会の全体構成

※事前準備（場のセッティング）

- ・ 6名掛けとなる机の島を5つ作る
- ・ 各机に名札と、名札を書くマーカーを用意
- ・ 名札には数字（1～5）や色（5色）をつけておき、各机の島に無作為に散らす
→保護者着席後、数字や色ごとに座り直し、グループ形成（くじ引きの代わり）

1. 保護者同士の自己紹介……………【10分】

各グループごとに自己紹介（1人1分半）

自己紹介の際に次のテーマにもふれていただくようにすると、盛り上がりやすい
「最近お子さんのことで気になっていること」

2. 担任からのコメント……………【5分】

各種連絡、クラスの様子、この会の趣旨など

3. ツールのアレンジ活用……………【20分】

「生徒の学びを疑似体験」

スライドの問題③「憲法十七条にもう1条加えるとしたら」を示した際に
次の2点をグループで議論する（5分間）

「この問いを考えるために必要な知識は？」（知識を活用することを体感する）

「実際にどんな1条を加える？」（対話して考えると気づきが増えることを感じる）

④振り返りとまとめ……………【10分】

グループで今日の感想と次の点を自由に話し合う

「子どもに学校で身につけてほしい力は？」

※振り返りで話し合うテーマとしては、「社会人として、若者たちに

社会に出る前に身につけておいてほしい力は？」なども考えられる。

※保護者の方々の状況次第では、「グループ内で順番に1人ずつ感想を述べる」

という、より簡素で戸惑いの少ないやり方に変える。